

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年4月8日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691700118
法人名	社会福祉法人 欣生会
事業所名	グループホーム 杜のかおり
所在地	鹿児島県志布志市有明町蓬原554番地6号 (電話) 099-475-2224
自己評価作成日	平成31年2月18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年3月25日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・平成29年8月1日より開設。2年目のグループホームになります。当法人は「誠心」の理念の基に支援を行う事となっており、その中には地域の方への「おかげさまの心」を持ち関わっていく事となります。地域の特徴としても畑の広がる田舎の風景が広がり、入居されている方も自宅で生活をしてきた状況に近い環境で生活ができています。

特別に力を入れている事と言うわけではありませんが、「まずは受け入れる」姿勢を持ち支援に繋がっていると思われま。認知症の方への支援の中で、気持ちを受け入れる姿勢を持って関わりを持って行く事は大切な事でもあり、人の生活に携わっていく事を考えると重要な事と思われま。今後も、その気持ちを忘れず支援に携わる事が出来ればと思われま。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・母体法人は特別養護老人ホームや介護事業所等を展開し、災害等の協力体制が取れている。

・理念は見やすい場所に掲示し「おかげさまの心」の気持ちを大切に取り組んでいる。

・自治会に加入し地域住民の一員として、地域の清掃活動や運動会・祭りなどに参加している。地域住民に認知症の勉強会も行っている。

・利用者の馴染みの関係を把握し、希望があれば逢いに行ったりしている。墓参りや理美容室にも家族や職員で同行している。

・協力医療機関とは24時間医療連携体制が整っている。訪問診療や歯科訪問診療・定期受診・他科受診も支援している。

・災害訓練は年2回、消防署から指導を受けている。自主訓練も行い災害に備え対策を検討している。

・職員は資格取得者が多く、職員の研修や勉強会に力を注ぎ、サービスの質の向上を目指している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> <li>「誠心（おかげさまの心）」と理念があります。法人の理念と同じになりますが、同様の事を理念として掲げる事が支援の幅、支援の質に関わる物として考え、支援に繋いでいる。</li> </ul>	理念は玄関や事務所に掲示し、パンフレットにも記載している。「おかげさまの心」の気持ちをいつも持ち続けて利用者のケアに取り組んでいる。年2回人事考課により管理者は職員と面談をして理念を基本にした取組状況を確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域集落の清掃作業への参加を勤務状況に応じて参加をする様にしている。事前に案内を貰い参加する様にもしているが、天候等から参加が出来ない事もあった。</li> <li>運営推進会議で、地域代表の方に参加依頼をしている。</li> <li>介護支援サポーター受け入れ</li> </ul>	自治会に加入し地域の清掃活動に参加している。地域の運動会や祭りなどに見物に出かけている。介護支援サポーターを受け入れている。小・中学生の職場体験学習も受け入れ、認知症について地域住民へ勉強会も行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事の参加をする事も地域交流、貢献の一つとして取り組んでいます。また、運営推進会議等で身近に認知症の方がいる場合等、必要な時は相談をして頂く様に伝えている。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・運営に関わる入居状況、要介護度、事故報告、行事、人員関係を含め報告する事や協力医、駐在所、行政より意見を求め、感染症状況、時事情報等を交換している。</p>	<p>運営推進会議は定期的開催し、事業所の活動報告や外部評価の結果報告・事故報告・ヒヤリハット報告等をしている。参加者からの意見やアドバイスをミーティングで話し合いサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>・運営推進会議に参加して貰い、意見をj得ている。また、質問事項等は確認し意見を得る様にしている。</p>	<p>市の担当者とは運営推進会議に参加してもらい、介護課や地域包括支援センターとも電話や窓口で相談し、意見や提案を得ている。研修にも職員が交代で参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>・日頃の言動も含め注意し支援をしている。職員の言葉一つで行動を制限させてしまう事がある事も含め、会議で話しをする事もあります。また、法人内の研修にて学ぶ機会もある。</p>	<p>マニュアルがあり身体拘束委員会で事例を出して話し合っている。言葉の拘束にも心を配り、馴れ合いにならないように、管理者や職員同士で注意合っている。玄関の施錠は昼間はしていない。見守りで自由な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・暴言、暴力、ネグレクトと虐待の種類はあります。法人内の研修等を通して学ぶ機会を持つ様になっている。職員自身のケア管理も含め対応していく事も虐待防止にも繋がってくると思われれます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	・法人研修等を通して学ぶ機会を持っている。また、会議等を通して日々を振り返る必要がある事も伝えている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	・入居時に契約書、重要事項説明書等を説明し理解を得ている。また、要介護認定が変更された時、公的保険が外れた時にも料金説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	・意見箱の設置 ・家族からの意見に対しては親身に対応をしている。運営推進会議等で家族等からの要望については報告をする事もある。	利用者と話をしている時に、日頃聞いていない情報があった時は記録に残している。家族とは受診の報告時や面会の時に積極的に話しかけて思いを聞き、運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事考課制度にて、アンケート、考課公表時に意見を求める様になっている。また、普段の業務の中でも意見を受ける様にしている。</li> </ul>	<p>職員会議やミーティングで意見を聞く機会があり、意見が言いやすい雰囲気である。人事考課制度もある。外国人の職員もいて、人間関係やケアの知識を学ぶ機会が多い。職員の関係も良好である。管理者は個々の希望や意見の相談を受けて、出された意見は運営に活かしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業規則、給与規定あり。</li> <li>・職員が長く定着する事も含め、シフト調整等を行っている。休憩時間を設ける事も労働に対する負担の軽減に繋がっている。</li> </ul>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内の研修、介護職員の処遇改善加算における勉強会等を設けたり、外部の認知症実践者研修を受けたりと学ぶ機会を設けている。</li> </ul>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内の職員と研修会を通して交流を図る事は出来ている。</li> <li>・同業者との交流の機会が持てる様に調整をしている事もある</li> <li>・大隅介護事業所連絡協議会加入</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>・初期の信頼関係については、入所相談時からの関係の構築が必要です。また、入所前の訪問から情報を受け状態を浮かび合わせながら支援の想定をする様にもしています。また、入所後も状態を観察し小さな気付きを持つ事、相談を受けながら支援に繋げ信頼を築ける様にしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>・初期の信頼関係については、入所相談時からの関係の構築が必要な事を理解し、また、入所後も同様に日々の相談を受けること、互いが協力して支援に繋げていく事を伝えながら支援をしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・初期に必要なとされる支援についても、訪問による情報、家族からの情報から想定し支援に努めている。他のサービスとの連携は検討中である。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>・共同生活を送る事の大切さを理解し、安心して一緒に生活が送れる様にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>・本人、家族との絆を保てる様に関係性を築ける配慮をしている。しかし、認知症の理解をして頂く事も課題の一つとなります。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>・家族から情報を得る事もあります。また、思い出のある場所に行く事もあります。今後の課題にもなります。</p>	<p>個別に馴染みの関係を把握し、希望で逢いに行ったりしている。墓参りや理美容室にも家族や職員と一緒に出かけている。正月やお盆に自宅に家族と帰る利用者もいる。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>・利用者同士の関係性に配慮しながら安心して過せる様に環境面も含め支援をしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>・今年度の退所者はいません。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・本人の意思として、生活の中で聞かれる言葉等を含め観察し、意向の把握に努めている。	コミュニケーションの取れる時に話しを聞いている。必要な事は記録して共有できるようにしている。会話が困難な利用者は家族から聞いたり職員で話し合い、本人本位に考え支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・サービス等の利用については入居時に確認。また、必要により家族や本人に確認をしている。日頃、聞かれる事について家族に聞き確認をする事もあります。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・自身の能力、事故リスク等を考慮して現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・計画については、日頃より行われている支援からの意見。個人や家族の意見も収集して作成している。また、日々の記録、意見からも計画に繋げている。	本人や家族の要望を聞いて、主治医の意見をもとに、介護計画を作成しモニタリングを3ヶ月毎に、6ヶ月また必要時に見直しや検討課題を職員や担当者と話し合い、現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・日常の様子は支援経過記録、個人チェック表等を活用している。記録の確認を行う事、意見を交わしながら状況の共有に努め活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・共同で支える意識を持つ事が必要になります。柔軟なサービスの活用等については、今後の課題になります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・グループホーム周辺の地域資源は把握していると思うが、活用や協働していく事については、地域課題となると思います。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・契約時、入所申込み時に協力医の説明をし了解を得ている。日頃の診療についても連携を図りながら支援に繋げている。24時間の連絡体制も図れている状態にあります。	本人や家族が希望するかかりつけ医であり、協力医療機関は24時間医療連携体制が整っている。月1回の訪問診療や歯科訪問診療もあり、受診は他科受診も含め家族が行けない場合は職員が同行して適切な医療を支援している。家族に受診報告を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・訪問看護事業所と連携を図り健康観察、緊急時の対応等を受けている。また、必要により質問し情報を得ている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>・入院時に医療機関への情報提供。また、入院中も医療機関からの情報収集、家族から情報交換、相談をして退院支援をしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・指針等は入居時に説明をしている。また、状態によっては今後の予測として相談をしている。その時にホーム内で行える事、難しい場合の提案等をさせて頂いている。また、法人施設への相談も行う事もあります。</p>	<p>入所時に「看取りに関する指針」を書類にて説明し同意をもらっている。マニュアルがあり段階的に説明し、「急変時や終末期における医療等に関する意思確認書」を取り交わしている。利用者や家族の意向に沿える支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・医療と連携を図る事、必要により質問し対応をする様にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・避難計画等、作成し閲覧できる様にはしている。また、運営推進会議にて地域への協力依頼はしている。緊急火災通報には職員、地域の方にも通報が行く様にしている。</p>	<p>年1回消防署の指導のもと、昼夜想定防災訓練、1回は自主訓練を行っている。一次避難場所はウッドデッキ、二次避難場所が駐車場である。緊急通報装置に地域の住民にも連絡が行くようにしている。災害時は1週間程の備蓄として、米・水・インスタント食・缶詰等がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・個人の人格や尊厳を守っていく事は必要であり、意識して支援に繋がっていると思います。個人の特徴を生かした支援が出来る様にしている。また、接遇についても注意する部分もありますが、その都度、改善が出来る様にも努めています。	接遇研修や勉強会を実施し、言葉かけや行動に注意している。排泄や入浴時はプライバシーに配慮している。やさしい言葉かけやまわりに気づかれないようなケアに心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・「意思の表出」「自己決定」は大切と意識しており、尊厳を守る事にもなります。入居者様より言葉を貰った時は、報告をし支援に繋がっています。また、意思の実現には職員の引き出しも大切。今までの生活も含め意思を汲み取り繋がっていく事もあります。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・一人ひとりの生活を大切にしながら過せる様には努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	・服装によって、その日の気分に変化がある事もあります。身だしなみを整えながら過している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・食の好みを確認しながら食事、お茶等を出す様にしている。食を楽しむの一つとして提供する様に努めており、楽しみの声も聞かれている。	利用者の希望を聞きながら季節感あふれる献立を職員が作成している。おせち料理・クリスマスのケーキ・行事食・出前の寿司・ウナギを食べたり、おやつの塩せんべい・ピザ・そば・ちまき等を作り、楽しんでいる。家族の協力で外食にも出かけている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・摂取量等を確認しながら、水分や栄養が摂れる様に支援している。また、栄養状態にうおじて医療に相談をしている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・歯磨きを行える方については手技説明等を行って頂いている。口腔内の状態に応じて用具を分ける事、必要により歯科医師に相談し指示を得て口腔ケアをしている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	・排泄間隔、状態等を考慮して排泄介助を行っている。個人ごとに身体的特徴も理解力の違いもあるが、状態に合わせてトイレで排泄をして頂いている。	排泄記録で個別にパターンを把握し、声かけを必ず行い、意思確認をしてトイレ誘導をしている。基本的に昼間はトイレでの排泄である。便秘の利用者には食事などで配慮している。夜間のみポータブルトイレの利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・便秘には食事、水分量が関係しており、排泄間隔を見ながら内服薬の調整、食品での調整をしている。認知症の症状もあるのか排泄する事、トイレの場所を忘れる事もあり、個々に応じて支援をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	・曜日の設定。季節に応じた入浴時間に合わせながら支援をしている。その中でも「楽しく」「気持ちよく」入る事が出来る様にしている。	入浴は週2～3回行い清潔保持に努め、希望で毎日入浴も可能である。入浴剤も使用して保湿も支援している。体調を確認して入浴できない場合は清拭を行っている。2人介助や入浴を嫌がる利用者には無理強いしないようにしている。楽しい雰囲気作りを心がけている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・生活習慣、体調、気分、場の状況により休息できる様にしている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・内服処方について、医師、薬剤師に相談、確認をしながら服用をしている。また、訪問看護に相談をし意見を得て医師に相談をする様にもしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>・一人ひとりに合わせて楽しみのある生活が送れる様にする事や一緒に過せる楽しみを持てる様にしている。季節、時事等の情報、職員の特色も取り入れ支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>・外出支援を行う体制や考えはあります。そこには入居している方の思いも含め実施できる用になっている。今後、地域の人々と一緒に過せる機会も課題となります。</p>	<p>日常的には近隣の散歩や買い物に出かけている。希望を聞いて外出の機会を多く作るようにしている。年間計画で初詣・花見・夏祭りに出かけ、ドライブも楽しんでいる。特殊車両で車椅子の利用者も一緒に出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>・少数の金額になりますが、金銭を所持している方もいます。他の方に関しえは、ホームで預かり管理している部分もあり、そこから買い物が行える様にもしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>・家族との繋がりを大切にと考えています。電話がしたい時に行う事もあります。また、家族が面会に来た時に代弁として家族と過ごしたい思いを持っている事を伝える事もあります。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・限られた空間ではあるが、一緒に過ごせる配慮、過ごす場所を選んで頂きける配慮をしている。また、清潔感が保たれる様にし不快感がない様に努めている。</p>	<p>共用空間は天窓から光が差し込み明るい。ウッドデッキに自由に出入りができる。外の景色を眺めたり気分転換ができ一次避難誘導の場所にもなっている。トイレも広く3ヶ所ある。キッチン是对面式で空気清浄器もあり、壁には行事の写真や飾り物があり、ソファでくつろいだり、洗濯物をたたんだりして穏やかに暮らしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>・自室で過ごす事もありますが、一緒に居たい思いもあり、入居者同士で過ごしている。また、状況に応じて環境面の調整をしている。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・自宅より布団等を持って来て頂く事、親しみのある物を持って来て頂く様にはしている。</p>	<p>居室は洋室で広い。掃出し窓でウッドデッキから外の景色が見れる。エアコン・ベッド・タンス・洗面台が設置されている。寝具や好みのものを持ち込んで、写真や作品が飾られている。季節の衣替えなどは本人と家族や職員が話し合っ行って、居心地よく暮らしている。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・カレンダー、テレビ、外の風景等から時間や時期を確認しながら過ごすことやトイレ、自室の案内表示等もあり確認をしながら行える様になっている。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない